

令和元年度エイジレス・ライフ実践事例

※年齢は平成31年4月1日

シルバー人材センター名	(ふりがな) 氏名	性別	年齢	エイジレス・ライフの概要
公益社団法人そうま広域シルバー人材センター	わたなべ こうき 渡邊 弘毅	男	76	東日本大震災により、心身の苦悩を少しでも癒されたいと思い、児童福祉施設や小学校又、地域の皆さんに花をとおして心豊かに思いやる人間に育つ手助けに少しでもなるように、自身のできる範囲で平成23年よりマリーゴールド等花の植栽を行っている。子供達からは、感謝の寄せ書きをいただいたり、学校からは感謝状が渡され、地域から大変感謝されており、今後も積極的に活動に期待されている。

令和元年度社会参加活動事例

シルバー人材センター名	(ふりがな) グループ等の名称	活動内容
公益社団法人さいたま市シルバー人材センター	けいちよう 傾聴ボランティアあゆみ	「傾聴ボランティア養成講座」を受講した市民の中で、公益社団法人さいたま市シルバー人材センターでの活躍を希望する方に会員登録をしていただき、活動をしている。今年で活動13年目になる。現在、施設44、個人宅約70件の訪問を定期的に毎月2回程度(1回1時間)を行い、また地域の社会福祉協議会や包括支援センター、行政などと連携し、「傾聴活動」を通して高齢者や障がい者などの福祉向上の推進の一役としての活動を進めている。
公益社団法人秦野市シルバー人材センター	けんきゅうかい パソコン研究会	公益社団法人秦野市シルバー人材センターの登録会員が組織する互助会に所属するパソコンを趣味とする「パソコン研究会」というサークル。サークル設立当初から、「パソコン無料相談」を毎月2回実施しており、パソコンの操作・設定などで困っている市民へのアドバイスを長期間にわたって無料で実施しており、地域福祉の推進に貢献している。
公益社団法人焼津市シルバー人材センター	ほうかごじどう かるがも放課後児童クラブ	公益社団法人焼津市シルバー人材センターが、働く親支援と放課後の子どもの居場所支援で始めたかるがも放課後児童クラブ。知識と経験豊富な高齢者団体が運営することにより、伝承したい遊びや経験、知識技能を伝え子ども達から元気と笑顔をもらう。子ども達の豊かな発想やアイデアを引き出し、生きる力を育む。互いに相乗効果を生み出し、ニーズの高い地域社会に貢献する活動である。